札幌市立栄中学校　学校だより　特別号

北ぐに

令和３年(2021年)10月20（水）発行

～全国学力・学習状況調査の結果と今後に向けた改善の方向等について～

秋冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、特段のご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、５月27日に３年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果資料を、過日受験した生徒に個人票として配付いたしました。また、「全国学力・学習状況調査」の札幌市の調査結果状況が報道されたことはご承知のことと存じます。これを受け、本校3年生の国語、数学、質問紙の調査結果をまとめました。

全国平均と比較して、全体の傾向と本校の課題、差異が大きい、肯定的な回答が多いまたは少ないなど、本校の生徒の特徴的な結果に注目し、改善の方向について検討するとともに、今後の栄中学校の教育活動に活かしていきたいと考えております。

なお、文部科学省、北海道教育委員会、札幌市教育委員会としての調査結果につきましては、それぞれのホームページで閲覧することができます。

【国語】

領域	本校の概要	今回の調査における課題
「話すこと・聞くこと」	全国平均より下回っている	・話し合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考えること
「書くこと」	全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている	・書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考えること
「読むこと」	全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている	・文脈の中における語句の意味を理解すること ・文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持つこと
「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」	全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている	・文末に即して漢字を正しく読むこと、相手や場に応じて敬語を使うことはやや上回っている。

※いずれの領域においても記述式の問題における正答率が下回っている

【数学】

領域	本校の概要	今回の調査における課題
「数と式」	全国平均より下回っている	・整式の加法と減法の計算、一元一次方程式をつくること ・数学的な見方や考え方で説明すること
「図形」	全国平均より下回っている	・扇形の中心角と弧の長さや面積についての理解は上回っている。 ・平行四辺形や2直線の位置関係について数学的な表現すること
「関数」	全国平均より下回っている	・関数の意味を理解すること ・事象を数学的に解釈し、解決方法を数学的に説明すること
「資料の活用」	全国平均より下回っている	・資料の分析に必要な基礎知識 ・資料を分析し、数学的表現を用いて説明すること

【生徒質問紙について】 ※本校生徒の割合を　％で、(　　％)の中は全国平均を表す。

＜基本的な生活について＞ 「朝食を毎日またはほぼ食べている」　92.2％(92.8％) 「普段(月～金)、ゲームは1日当たり3時間以上」　45.3％(32.3％) 「普段(月～金)、(学校の授業以外)、勉強は1日当たり2時間以上」　44.8％(41.8％) 「新聞をほとんど、または全く読まない」　92.2％(89.3％) 「家で自分で計画を立てて勉強をしているまたはどちらかといえばしている」　61.5％(63.5％)
＜意識について＞ 「自分には、良いところがあると思う、またはどちらかといえば思う」　84.3％(76.2％) 「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う、またはどちらかといえば思う」　98.0％(95.9％) 「人の役に立つ人間になりたいと思う、またはどちらかといえば思う」　94.3％(95.0％) 「友達と協力するのは楽しいと思う、またはどちらかといえば思う」　96.8％(93.3％)
＜学校や地域について＞ 「学校に行くのは楽しいと思う、またはどちらかといえば思う」」　86.5％(81.1％) 「1･2年生のとき受けた授業で、ICT機器は週1回以上使用した」51.6％(33.4％) 「1･2年生のとき受けた授業で、自分の考えがうまく伝わるよう工夫して発表した」56.3％(62.0％) 「今住んでいる地域の行事に参加していますか」26.6％(43.7％) 「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりしている」88.0％(86.2％)

【改善の方向】～以下の点に留意しながら、よりよい栄中学校を創っていきたいと思います。～

○国語の授業においては･･･

・条件を明確にした課題作文を各単元の教材で多く取り組む。

・各教材の重要語句の意味や用例を、辞書を活用し確認させるとともに、応用に向け短文づくりにも積極的に取り組む。

○数学の授業においては･･･

・計算過程を振り返り、計算の決まりを確認したり、条件を変えたりするような活動に取り入れる。

・関数を表、式、グラフなどで表し、それらを日常の場面に活用したり説明したりといった活動を取り入れる。

・身近なかつ具体的な事象を取り上げて、数学的な統計や分析をし、興味関心をもたせる。

○生徒質問紙においては･･･

・基本的な生活習慣や家庭学習習慣の定着などは、テスト計画や学級指導、または教育相談の中で、折に触れて見直しするなどして繰り返し指導を継続する。

・規範意識や自己有用感などの肯定的な意見が多いことから、思いやりのある内面を表出する言語力や表現力を身に付けさせる。

・ICTを授業で使用しているが、友達との意見交換や家庭学習では活用している割合が低いので、知識を活かして、工夫したり応用したりする活動を増やしていくよう努める。

そこで、学校全体の教育活動においては･･･

・国語科だけの問題とはせず、各教科や学級活動などでも、言語活動を通してコミュニケーション能力を高める活動を増やす。

・コロナ禍において制限があるが、ICTを活用した意見交流やグループ討議などの機会を増やす。

・話し合いの場面において、自分の考えをまとめ、友人にわかりやすく話す活動や人の意見を聞いて理解し、司会の役割を務める活動を多く取り入れる。

・日常生活の中で、読書や新聞を読むなど文字に触れ、文章を読む習慣を身に付けるよう導く。

・家庭や地域と連携しながら、たくさんの大人と関わる中で、敬語を使って会話ができたり、規範意識を高めたりという栄中学校の生徒の良さをさらに伸ばしていく活動を取り入れる。